

令和2年度事業報告・決算

令和2年度は、前年度に引き続き「地域につながる・人につながる」ことを目標に、次の事業指針のもと、地域福祉活動の推進に取組みました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた方々への生活福祉資金貸付の支援や生活に困窮する方への支援などにも積極的に取組みました。

1.地域との協働によるかまくらささえあい福祉プランの推進

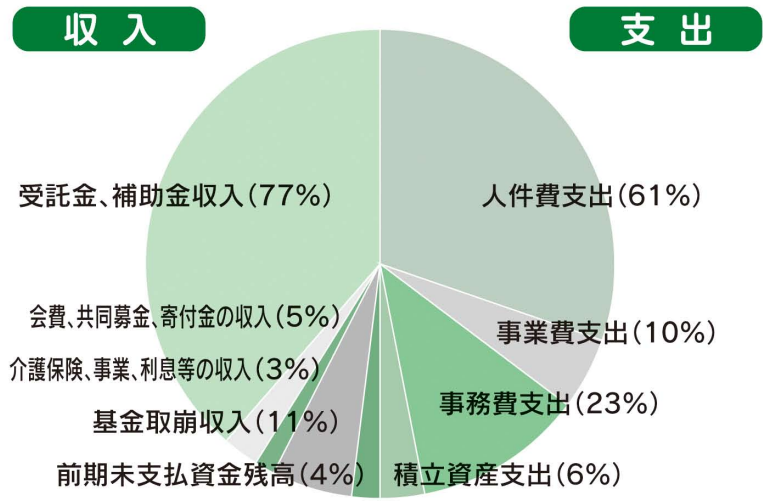
- (1) 相談窓口機能の「なんでも相談窓口」では、本会会員や関係団体と連携しながら困りごとの解決に努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け相談件数は伸びませんでした。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大により地域活動も自粛・縮小されましたが、可能な限り地域に出向いて地域とともに課題解決に取り組みました。
- (3) 居場所や活動拠点の確保に向けた取組みについては、集いの場として個人宅などを活用した「近所の団らん助成事業」を行いました。
- (4) 福祉人材の育成につながる福祉教育については、新型コロナウイルス感染症拡大に配慮する中で市内小・中学校と連携して実施するとともに、福祉教育用DVDを作成し活用するなど啓発を行いました。
- (5) 権利擁護と生活支援については、地域生活に配慮を要する高齢者や障害者等が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、地域包括支援センターをはじめ日常生活自立支援や成年後見、法人後見といった権利擁護事業を展開しました。また、生活困窮者等への就労準備支援事業では就労体験を行うなど自立に向けた支援を行うことができました。
- (6) 災害時の対応については、災害に備えた備品等の準備を行いました。災害ボランティアセンターの設置・運営については、鎌倉市や青年会議所との協議を行っています。



2.指定管理施設の受託に向けた取組み

鎌倉市から指定管理を受け運営している老人福祉センターについては、新たに令和3年度から5年間の指定管理者の指定を受けることができ、腰越なごやかセンターを加えた市内5施設すべての管理運営を引続き行っています。

令和2年度 社協の決算状況



収入内訳

受託金、補助金収入(市)他	302,696千円
会費、共同募金、寄付金の収入	18,551千円
介護保険、事業、利息等の収入	12,341千円
基金取崩収入(財政調整基金他)	42,185千円
前期末支払資金残高(繰越金)	16,378千円
計	392,151千円

支出内訳

人件費支出	215,451千円
事業費支出	34,901千円
事務費支出	82,503千円
積立資産支出	20,078千円
計	352,933千円

みんぴょん通信(3)

鎌倉市民児協広報部会

民生委員・児童委員に関するQ&A これから毎号のせるよ



- Q. どんな人になるの？
A. 住民の方で、その地域を人にやさしい場所にしたいと思い、福祉活動やボランティア活動などに理解と熱意のある人です。
- Q. 身分は？
A. 非常勤の特別職地方公務員で、守秘義務があります。
- Q. 報酬は？
A. 給与は支給されませんが、交通費・通信費等に充てる活動費が支給されます。
- Q. 相談したいけど、近所の民生委員が分からない
A. お近くの自治会、町内会にご連絡ください。地域の民生委員・児童委員を紹介します。鎌倉市役所生活福祉課にもお問い合わせいただけます。

～まだまだ続くコロナ禍の下で～

- ★コロナのワクチン接種が進んでいますが、接種をしたいけれど申し込み方法がわからないという方、ワクチン接種のことに限らずコロナに関連するお困りごとのある方、ぜひ地域の民生委員・児童委員にご相談ください。適切な関連機関におつなぎいたします。
- ★コロナワクチンの接種をされた方も、引き続き「マスクの着用・うがい・手洗い・部屋の換気」を心掛けてお過ごしください。



生活支援コーディネーターより

毎週金曜日にやっています！

今泉台の集いの場「6丁目クラブ・寄り道ランチ」のご紹介

今回ご紹介する今泉台の「コミュニティカフェ6丁目クラブ・寄り道ランチ」では、2018年春から地元住民の高齢者の方々が集まり、カフェ自慢のお手製ランチとコーヒーに舌鼓を打ちながらおしゃべりを楽しんでいましたが、このコロナ禍において、昨年の4月～6月と今年の1月には休会を余儀なくされてしまいました。



コロナ禍前の「寄り道ランチ」の様子

そのような状況でも利用者の皆様から「友人と会っておしゃべりがしたい」「人と関わりたい」という多くの声に応えて、2月からは隣の北公園などに集まり、お茶飲みながらおしゃべりを楽しむという形で活動を再開しました。



今年6月、公園での井戸端会議

それ以来、屋外でも新型コロナウイルス感染対策を講じながら集いの場を継続しています。

運営者の廣瀬さんと並木さんは「井戸端会議は時間のムダと言われがちですが、今は逆にそれが大事なことだと思います。」「ひとり暮らしの方は健康に対して不安になります。仲間と会って病院や薬局などの情報交換ができることも喜ばれています。」と改めて人と人とのつながりの大切さを感じていました。

※生活支援コーディネーターは、住民同士の交流や集う場づくりを住民が主体となって取り組む活動(鎌倉市の補助事業「介護予防・日常生活支援総合事業・サービスB」)に支援を行っています。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、地域活動が制限されていますが、コロナ禍においても地域(ご近所)のつながりが途切れないよう地域の方々、関係機関と話し合いを行いながら取り組んでいます。

生活支援係 電話：(23)1075

福祉クラブ生活協同組合

鎌倉家事介護W.Co「であい」

メンバー募集

地域の皆で助け合いながら暮らしたい！

ヘルパーの資格の有無にかかわらず、一緒に活動してくれる方を募っています。お気軽にお問い合わせください

☎48-6933 鎌倉市台5-2-3コア北鎌倉

☎38-9011 鎌倉市大町1-17-2コア大町



福祉クラブ生協

運転免許証を返納された、近所の商店が無くなったなど生協の宅配で買い物の悩みを解消しませんか？

住み慣れた我が家で暮らし続けるお手伝い
福祉クラブ生活協同組合 鎌倉センター
☎0467-48-3955

※牛乳1本、豆腐1丁からでもお届けします。
配達料・カタログ代無料。地域により配達の曜日時間が異なります。
詳しくはお問い合わせください。

安全で美味しい食品と日用品を配達します

